

11/26  
(金)

## 唐隈そてつ会が海上保安庁長官表彰 労いの言葉が原動力



感謝状を受け取った中屋代表(写真中央)

11月26日、唐隈そてつ会が長年の長崎鼻灯台周辺の環境美化活動と航行援助業務の周知などの功績により、海上保安庁長官表彰を受けました。

同会は地元の有志で、灯台周辺の美化活動をボランティアで始め、今年で19年目を迎えます。会員12人の平均年齢は70歳を超えていますが、「できるときにできることを」の精神でこれまで活動してきました。

中屋修代表は「会員のやる気と奉仕の精神でこれまでやってこれた。作業中に訪れたかたからの『いつもご苦労様』の一言が原動力となっている」と述べました。

12/4  
(土)

## イルミネーション点灯式 光で明るい町に

12月4日、指江地区の温泉センター「椿の湯」前駐車場で、「フラワーズ・オブ・ヒカリ」イルミネーションの点灯式がありました。

これは、コロナ禍で疲弊している町に明るい話題を提供し、町外に長島町をアピールすることで、観光交流人口の増加、経済の活性化を目的としています。

会場一帯は約7万球のLEDライトを使用して、花の町「長島町」を象徴するように、赤や黄色など色とりどりの展示物で演出されています。

式ではカウントダウンに合わせて、川添健町長が点灯スイッチを押すと、一斉にライトアップされ来場者から歓声が上がりました。

「フラワーズ・オブ・ヒカリ」は、令和4年2月12日まで開催され、毎週土曜日には地元特産品の販売も予定しています。



カウントダウンで一斉に点灯

会場内にある出店



色とりどりに光るイルミネーション

